

「第1回緑のまちづくりワークショップ」を開催しました

～みんなで緑の課題を考えよう～

緑のまちづくりワークショップは、現在検討中の富田林市緑の基本計画について、市民の皆様のご意見などを参考としていくため、平成30年8月25日（日）に実施したものです。当日は11名の方に参加していただくとともに、大阪府立大学の藤原教授に講演をお願いしました。

緑のまちづくりワークショップでは、緑が有する「環境保全」「レクリエーション」「防災」「景観」機能の4つの班に分かれ、それぞれの課題やアイデアなどをいただき、全員で意見を共有しました。



項目	ワークショップでの主なご意見	
環境保全	<ul style="list-style-type: none"> ◆自然環境の保全 <ul style="list-style-type: none"> ・水田や農地などが少ない ・農業を守ることによって自然を守る ・石川の清掃、周りの環境はとても大切 ◆農地、山林の維持管理と活用 <ul style="list-style-type: none"> ・緑の管理活用方法 ・使われていない農地を有効活用するべき ・棚田を管理するシステムを行政と協働でつくる 	<ul style="list-style-type: none"> ◆植樹、街路樹等の維持管理 <ul style="list-style-type: none"> ・木を植える際、樹種を適切に選ぶ ・街路樹の老木化、適切な管理 ・街路樹の水やり（個人又は行政） ◆生物多様性の確保 <ul style="list-style-type: none"> ・生物との共生に役立つ池、農業用水対策 ・温暖化に対応できる緑化計画 ・土と水の大切さの認識 ・土地の人々や環境を理解する
レクリエーション	<ul style="list-style-type: none"> ◆公園の整備や適正な配置 <ul style="list-style-type: none"> ・住宅地に公園がない ・住民の憩いの場となる公園がない ・府と市が連携し、錦織公園を整備 ・公園の場所が偏っている ・市全体の公園化 	<ul style="list-style-type: none"> ◆公園施設の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・天候に左右されない屋内施設が欲しい ・既存公園の緑を充実させる ・自然を活かした公園づくりを ・公園に駐車場を設けてほしい ・公園を利用しやすくするための方策
景観形成	<ul style="list-style-type: none"> ◆自然景観の減少・荒廃化 <ul style="list-style-type: none"> ・駅周辺に緑が少ない（きれいでない） ・工業団地のまわりにみどりはあるか ・住宅地の緑の保全 ◆市のシンボルとなる緑の保全 <ul style="list-style-type: none"> ・文化財と緑を守る ・石川の清掃。きれいであるほうが良い 	<ul style="list-style-type: none"> ◆緑化・美化の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・緑を増やし、守る活動を市民が一体となって広げるべき ・通学路は草が邪魔で道が狭くなっている ◆緑化に関する市民意識の醸成 <ul style="list-style-type: none"> ・緑に対する市民意識の喚起 ・親子で体験、管理、植林や剪定など
防災	<ul style="list-style-type: none"> ・防災計画としての緑化計画 	<ul style="list-style-type: none"> ・石川の清掃（河が増水した時にも困る）
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・緑のデータを整える 	<ul style="list-style-type: none"> ・「緑の基本計画」を知らない人が多い

緑のまちづくりワークショップの開催状況

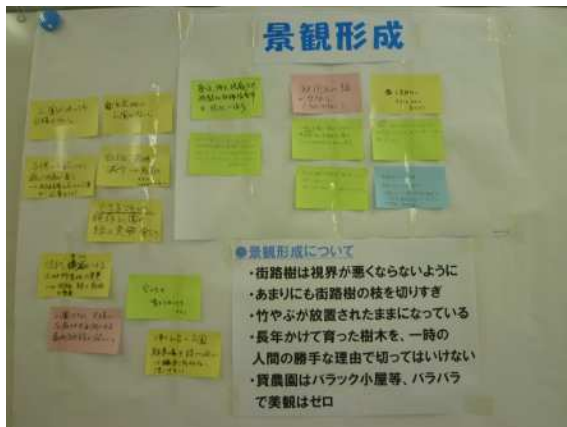
環境保全



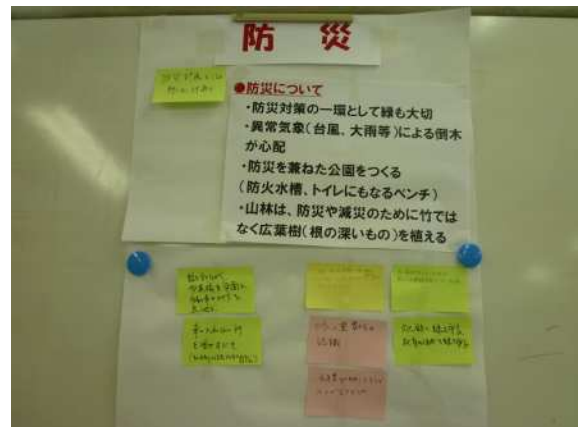
レクリエーション



景観



防災



ワークショップ各班の結果発表



ワークショップの主な感想

- 富田林の緑地を考えることは非常に重要である。こういった機会が得られ、有意義であった
- 緑への理解を深めるきっかけになった
- いろいろな意見が出て良かった

講師の主な感想

- 行政とともに様々な意見をどのように実現していくかが重要である
- どこで、どのように増やすのかについて、もっと話し合いが必要である

緑のまちづくりワークショップの結果は緑の基本計画に活かします

- 参加者の皆様のご意見を整理し、検討中の緑の基本計画に活用します